

事業群評価調書(令和2年度実施)

基本戦略名	2 交流を支える地域を創出する	事業群主管所属	文化観光国際部 スポーツ振興課
施策名	(2) 文化・スポーツによる地域活性化	課(室)長名	野口 純弘
事業群名	地域密着型クラブチーム等の活用や「わがまちスポーツ」による地域活性化・交流の推進	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)</p> <p>V・ファーレン長崎を活用し、サッカーによる新たな国際交流の展開、ホームゲーム・アウェイゲーム 1での観光物産等のPRにより長崎県の知名度向上を図るとともに、青少年の育成に取り組みます。また、「わがまちスポーツ」 2の定着支援などにより、地域活性化と交流を推進します。</p> <p>1ホームゲーム・アウェイゲーム:サッカーなどで自チームの本拠地とする競技場で行う試合がホームゲーム、相手チーム本拠地における試合はアウェイゲーム 2わがまちスポーツ:平成26年度の国体・障害者スポーツ大会において各市町で開催された競技やスポーツ行事等のうち、その開催市町において定着化を図ろうとするスポーツ種目</p>						<p>(取組項目)</p> <ul style="list-style-type: none">)地域密着型チームの支援)地域密着型チームを活用した国際交流の推進及び青少年の育成)地域密着型チームを広報媒体とした県政の広報・PR 				
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	<p>(進捗状況の分析)</p> <p>V・ファーレン長崎を活用した地域活性化を図るために、V・ファーレン長崎自治体支援会議や関係者間の情報共有等により、V・ファーレン長崎、県、市町の連携を深め、最終年度には市町との連携イベント等の倍増を目指すこととしている。</p> <p>V・ファーレン長崎のスクールコーチによるサッカーの巡回活動である「V-TIME」や、選手・スタッフが小学校を訪問し、夢を持つことの大切さなどを伝える「V-DREAM」などに積極的に取り組んだことにより、令和元年度の目標を達成することができた。</p>
	市町とV・ファーレン長崎との連携によるイベント等回数		目標値	95回	110回	125回	140回	155回	155回(R2)	
			実績値	78(H26)	122回	55回	111回	147回	進捗状況	
		達成率	/	128%	50%	88%	105%	/	順調	

2. 令和元年度取組実績(令和2年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和元年度事業の成果等	中核事業	
				H30実績	うち一般財源	人件費(参考)			主な指標	H30目標	H30実績			達成率
				R元実績	R2計画	R元目標				R元実績				
1		「スポーツ・夢づくり」推進事業	H19-	17,176	17,176	5,580	V・ファーレン長崎	J1リーグ昇格を目指すV・ファーレン長崎をサポートするため、クラブの経営安定化を目的とした競技場使用料軽減など支援を行うとともに、県民応援フェアなどの県内市町と連携した集客対策を行った。	活動指標	県の広報媒体を活用したホームゲーム観戦呼びかけ回数(回)	32	30	93%	<p>事業の成果</p> <p>・競技場の使用料軽減を行ったことにより、V・ファーレンの負担軽減に寄与することができた。</p> <p>・また、県民応援フェアを開催し、各市町の名産品を広く周知したことで、知名度を上げることができた。</p> <p>・事業群の目標(指標達成)への寄与</p> <p>・J2降格によって前年度並みの集客はできなかったが、J2在籍時における過去最高の平均観客者数を記録した。</p>
				18,438	18,438	3,977				32				
				18,896	18,896	3,988				成果指標	V・ファーレン長崎のホームゲーム1試合平均観客者数(人)	10,000	11,225	
		スポーツ振興課				根拠法令				9,087	7,737	85%		
										6,624				

3.実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

地域密着型チームの支援	
<p>実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>令和元年度の1試合平均観客数は、J2降格に伴ってアウェイチームのサポーターが大幅に減少したことで、前年度と比較して約3割の減となった。今後、観客数を増加させるためには、アウェイチームのサポーターを獲得する必要がある。</p>	<p>課題解決に向けた方向性</p> <p>V・ファーレン長崎のホームゲーム時に加えて、県外でのアウェイゲーム時に、相手チームのサポーターに対して、本県の魅力をPRすることなどにより、さらなる来県を促し、観光と合わせた試合観戦につなげる。</p>
地域密着型チームを活用した国際交流の推進及び青少年の育成	
<p>実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>自治体支援会議にV・ファーレン長崎の参加を求めるなど、市町との連携を促進したことで、市町と連携したイベントの開催回数の増につながった。ホームスタジアムから遠方にある、あるいはアクセスが良好でない自治体は取組が少ない傾向にあるため、V・ファーレン長崎の活動に関する理解をさらに深める必要がある。</p>	<p>課題解決に向けた方向性</p> <p>引き続き、自治体支援会議での意見交換を通じて市町とV・ファーレン長崎との連携を強化していく。</p>
地域密着型チームを広報媒体とした県政の広報・PR	
<p>実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>県民応援フェアにおいて県民スポーツ、観光、世界遺産、物産についてPRを行ったほか、人権啓発や、雲仙普賢岳噴火災害を通じた防災啓発活動を行った。これにより推計延べ40000人以上の人に県政をPRすることができた。</p> <p>V・ファーレン長崎とさらなる連携・協力を図ることでチームの発信力を活かした効果的な県政PRができる可能性があるが、庁内各課とV・ファーレン長崎の考えや活動状況を共有できる場がない。</p>	<p>課題解決に向けた方向性</p> <p>V・ファーレン長崎と庁内各課が協議する場を設け、連携して事業を推進することで県政の広報・PRを行う機会を創出していく。</p>

4.令和2年度見直し内容及び令和3年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	令和2年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和2年度の新たな取組は「R2新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	令和3年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1		「スポーツ・夢づくり」推進事業 スポーツ振興課			アウェイチームのサポーターを長崎のホームゲームに呼び込むため、市町、V・ファーレン長崎、V・ファーレン長崎後援会等と連携して県外在住者に長崎の観光地や県産品等のPRを行う。	改善

注：「2.令和元年度取組実績」に記載している事業のうち、令和元年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- 視点 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- 視点 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- 視点 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- 視点 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- 視点 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- 視点 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- 視点 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- 視点 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- 視点 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- その他の視点